

天国と地獄

井上時生

今、僕はほのぼのとしている。なぜなら、おにぎりや食べ、お茶を飲み、雲が流れる青空を眺めている。こんな日は風寝に限る。しかし、窓を一枚へだてたむこうは殺伐としている。なぜなら今、ここは台風18号の暴風域だからである。流れる雲は黒いし、ものすごい勢いで流れていく。川は水深が8mほどになり、下流から上流に向かって流れている。また、今聞いているラジオやテレビも台風の情報ばかりである。

おにぎりも手にとり、外を眺めていると、何かかものすごい速さで横切った。鳥である。羽が飛んでいるというよりは吹っ飛ばされている感じがする。また、朝潮小橋の上を歩いている人は風にあおられていて、今にも橋から転げ落ちそうだった。おと僕はずぶやいた。朝潮小橋のつくずかれてもおおかしくないな。これは聞いていた母も同感した。おっと、説明を忘れていた。なぜ今日、は平日なのに僕や母が家にいるのかだ。それ

井上時生

(2)

は、母は台風18号の影響で会社が午後になた。
たからだ。本日の所、弟も台風によって授業
が3時間目からになったのだ。だが僕が家に
いるのは台風のせいではない。実は僕のワラ
スが新型インフルエーザで学級閉鎖になつた
からだ。とはいへ、昨日も普通に外で友達と
遊んで来た。バシていなければいいが。
話を元にもどそう。今度はお茶を飲みなが
ら外を観察してみると、向かいのマンシマン
で洗たく物を干している。あれは、いま忘れ
たのか。それとも良くなつたのだろうか。
か。どっちも勇者である。近くのマンシッ
この窓ガラスを見てみると、ものすごくゆれて
みえる。あれは水たまりが反射しているから
だろうか。本当に風でゆれているからなのか。
よく見ると色々と面白発見がある。
でもあくまで僕は1日中家の中にいるのだ。
これから外で何が起ころんだろう。ま、外で
中があらうとおかまひなしだ。まさに「高み
の見物」という感じだ。
おちりり